

実務経験証明書作成の手引き

<実務経験について>

実務経験年数3年以上とは、第二種電気工事士免状の交付を受けた後、原則電気工事業の登録（届出）のある電気工事業者（以下「登録電気工事業者」という。）のもとで、法令に規定する電気工事に正味に携わった期間が3年以上ということです。免状取得後「3年以上経過した」ということではありません。

<実務経験の対象となる電気工事について>

実務経験の対象となる電気工事は以下の3通りです。それぞれについて記載例がありますので、ご参照のうえ記載してください。

- ① 第二種電気工事士免状取得後、登録電気工事業者で**一般用電気工作物**に係る電気工事に3年以上従事

→記載例1を参照

* コンビニエンスストアや小学校・中学校等、敷地内にキュービクルを設置している施設は一般用電気工作物ではなく**自家用電気工作物**となります（低圧の部分であっても自家用電気工作物となります）。

- ② 第二種電気工事士免状取得に加え**認定電気工事従事者認定証**取得後、登録電気工事業者で最大電力500kW未満の需要設備に係る電圧600V以下の電気工事に3年以上従事

→記載例2を参照

- ③ 第二種電気工事士免状取得後、家庭用電気機械器具の販売に付随して行った電気工事（**一般用電気工作物**）に3年以上従事

→記載例3を参照

* 家庭用電器機械器具とは、エアコンや電気冷蔵庫等『主として家庭で使用されるもの』をいいます（太陽電池発電設備、コンセント本体、ブレーカー等はこれに該当しません）。

<事前確認について>

審査時間短縮のため、FAXによる実務経験証明書の事前確認を行っております。証明者に押印してもらう前に、FAXを送ってください。

また実務経験証明書の内容確認後こちらからお電話しますので、FAX送信票等に電話番号と御名前（御担当者名）を必ず記載してください。

〒730-8511 広島市中区基町10番52号

広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム 計量検定グループ

TEL 082-513-3335（ダイヤルイン）

FAX 082-223-6314

記載例 1 一般用電気工作物に係る電気工事

主任電気工事士等実務経験証明書

下記1の電気工事士は、下記2のとおり電気工事に従事していたものに
相違ありません。

平成 年 月 日

証明者 住 所 福山市青葉台〇ー〇

氏名または名称 〇〇産業株式会社

代表取締役の印

法人にあっては 代表取締役 〇〇 〇〇
代表者の氏名

印

広島県知事 様

記

証明者は主任電気工
事士の雇用主です。

1 電 気 工 事 士	電 気 工 事 士 の 氏 名	福山 次郎
	生 年 月 日 ・ 年 令	年 月 日 才
	現 住 所	〒721-〇〇〇〇 福山市〇町〇ー〇
	電気工事士免状の交付年月日	平成24年 3月 30日
	免 状 交 付 番 号	第二種電気工事士 広島県第〇〇〇〇〇号

2 電気工事に従事した職歴

実際に電気工事を行った作
業日数を書いてください
(工期ではありません)

所 属 名	期 間	業 務 の
〇〇産業(株) 福山営業所 工事課 〇〇担当 *所属部署名が 無い場合には、 「社員」「従業 員」と記載	H24年4月1日 ～ H28年3月31日	・左記期間中の工事件数約300件、作業日数約720日 ・電気工事の種類 一般用電気工作物 ・近年の主な工事 * 正確な工事の期間、現場の所在地（町名まで）と 現場名を2件以上必ず記載 ①H27年5月1日～31日 福山市引野町 〇〇邸（ 具体名記載 ）の屋内配線及び照明器具取 り付け工事 ②H27年6月30日 福山市三吉町 〇〇邸のエアコン設置に伴うコンセント増設工事
3 証明者の事業内容		電気工事業（広島県登録（届出）第〇〇〇号）

電気工事に3年
以上正味に携わ
った期間が必要
です(免状取得後
「3年以上経過
した」ということ
ではありません)

記載注意

- 所属名は、〇〇営業所〇〇担当というように具体的に記入すること。
- 業務の内容は、〇〇施設の屋内配線工事の施行業務等を具体的に記入すること。
なお、主任電気工事士の職歴のある者については、その旨を明記すること。

記載例2 最大電力500kW未満の需要設備における電圧600V以下の電気工事

主任電気工事士等実務経験証明書

下記1の電気工事士は、下記2のとおり電気工事に従事していたものに相違ありません。

平成 年 月 日

証明者 住 所 広島県広島市南区丹那町〇-〇

氏名または名称 〇〇工業株式会社

代表取締役の印

法人にあっては 代表取締役 〇〇 〇〇
代表者の氏名

印

広島県知事 様

記

証明者は主任電気工事士の雇用主です。

1 電 気 工 事 士	電 気 工 事 士 の 氏 名	広 島 次 郎
	生 年 月 日 ・ 年 令	年 月 日 才
	現 住 所	〒730-〇〇〇〇 広島市中区基町〇-〇
	電気工事士免状の交付年月日	平成23年 3月 30日
	免 状 交 付 番 号	第二種電気工事士 広島県第〇〇〇〇〇号

2 電気工事に従事した職歴

実際に電気工事を行った作業日数を書いてください
(工期ではありません)

所 属 名	期 間	業 務 の
〇〇工業(株) 広島営業所 工事課 〇〇担当 *所属部署名が無い場合には、「社員」「従業員」と記載	H24年4月1日 ～ H28年3月31日	(平成24年3月30日認定電気工事従事者認定証取得) ・左記期間中の工事件数約200件、作業日数約720日 ・電気工事の種類 自家用電気工作物 ・近年の主な工事 *正確な工事の期間、現場の所在地(町名まで)と現場名を2件以上必ず記載 ①H27年5月1日～31日 広島市南区東雲 コンビニエンスストア〇〇(〇〇店)の屋内配線及び照明器具取り付け工事 ②H27年6月1日～15日 広島市中区舟入幸町 〇〇病院の改修に伴う屋内配線工事

電気工事に3年以上正味に携わった期間が必要です(免状取得後「3年以上経過した」ということではありません)

3 証明者の事業内容

電気工事業 (広島県登録(届出)第〇〇〇号)

記載注意

1. 所属名は、〇〇営業所〇〇担当というように具体的に記入すること。
2. 業務の内容は、〇〇施設の屋内配線工事の施行業務等を具体的に記入すること。
なお、主任電気工事士の職歴のある者については、その旨を明記すること。

記載例 3 家庭用電気機械器具の販売に付随して行った電気工事

主任電気工事士等実務経験証明書

下記 1 の電気工事士は、下記 2 のとおり電気工事に従事していたものに相違ありません。

平成 年 月 日

証明者 住所 広島市西区横川町〇-〇

氏名または名称 株式会社〇〇電器

法人にあっては 代表取締役 〇〇 〇〇
代表者の氏名

代表取締役の印

印

広島県知事 様

証明者は主任電気工事士の雇用主です。

記

1 電 気 工 事 士	電 気 工 事 士 の 氏 名	広 島 次 郎
	生 年 月 日 ・ 年 令	年 月 日 才
	現 住 所	〒730-〇〇〇〇 広島市中区基町〇-〇
	電気工事士免状の交付年月日	平成 24 年 3 月 30 日
	免 状 交 付 番 号	第二種電気工事士 広島県第〇〇〇〇〇号

2 電気工事に従事した職歴

実際に電気工事を行った作業日数を書いてください
(工期ではありません)

所 属 名	期 間	業 務 の
〇〇産業(株) 福山営業所 工事課 〇〇担当 *所属部署名が無い場合には、「社員」「従業員」と記載	H24年4月1日 ～ H28年3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・左記期間中の工事件数約700件、作業日数約720日 ・電気工事の種類 家庭用電気機械器具（*エアコン等の家電製品のことです）の販売に付随して行った工事（一般用電気工作物） *販売業者自らが施工した場合に限ります 主な工事 (別添のとおり) * 施行したすべての工事について、具体的に記載した書類を別途添付してください（事前にご相談下さい） 記載例) H27年6月30日 広島市佐伯区五月が丘 〇〇邸のエアコン販売に付随する電気工事

電気工事に3年以上正味に携わった期間が必要です(免状取得後「3年以上経過した」ということではありません)

3 証明者の事業内容

電気工事業（広島県登録（届出）第〇〇〇号）

記載注意

1. 所属名は、〇〇営業所〇〇担当というように具体的に記入すること。
2. 業務の内容は、〇〇施設の屋内配線工事の施行業務等を具体的に記入すること。
なお、主任電気工事士の職歴のある者については、その旨を明記すること。